

佐賀大学美術館

THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

平成31年度  
令和元年度

2019  
年報



佐賀の近代日本画

History of Modern Japanese-style Painting in SAGA



2019  
5.1 (水) - 6.23 (日)  
佐賀大学美術館 1・2階

観覧無料

開館時間：10:00 - 17:00 (入館は16:00まで)  
休館日：5/1(水)・5/2(木)・5/3(金)・5/4(土)・5/5(日)  
5/6(月)・5/7(火)・5/8(水)・5/9(木)・5/10(金)・5/11(土)・5/12(日)  
5/13(月)・5/14(火)・5/15(水)・5/16(木)・5/17(金)・5/18(土)・5/19(日)  
5/20(月)・5/21(火)・5/22(水)・5/23(木)・5/24(金)・5/25(土)・5/26(日)  
5/27(月)・5/28(火)・5/29(水)・5/30(木)・5/31(金)



SUAM

佐賀大学美術館

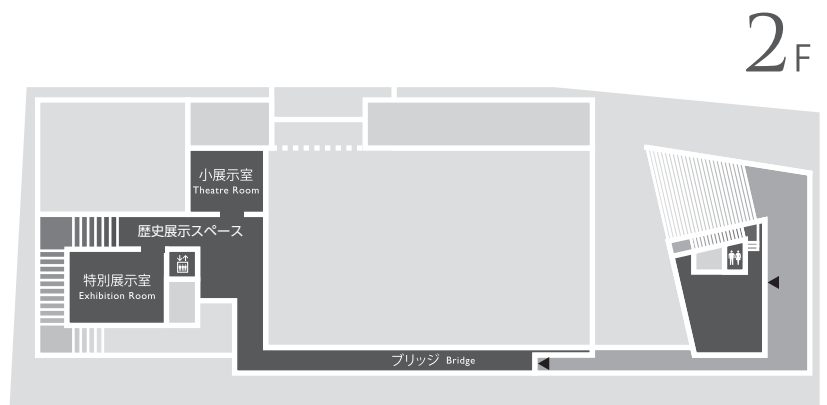
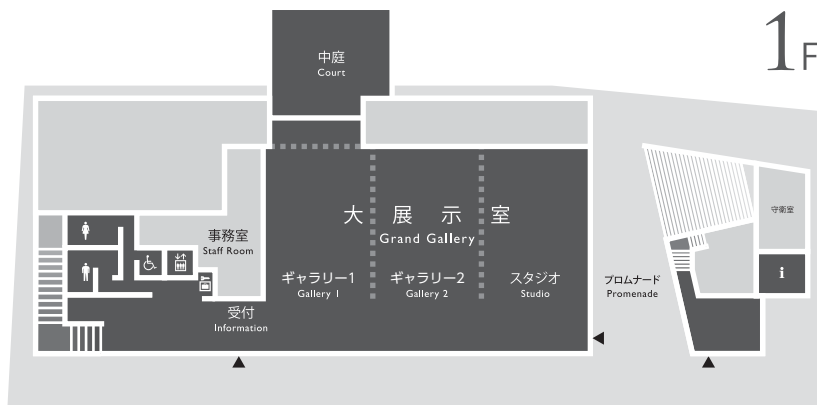
THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM

SUAM



# 〔館概要〕

名 称	佐賀大学美術館
所 在 地	佐賀市本庄町1番地
基本設計	佐賀大学
実施設計	(株)梓設計九州支社 [協力:(株)ワークビジョンズ]
監 理	佐賀大学環境施設部
施 工	建築:金子建設(株) 電気:(株)佐電工 機械:(株)九電工
構 造	鉄骨造・地上2階建
延床面積	1,502㎡
展示面積	462㎡ ギャラリー1 106㎡ ギャラリー2 106㎡ スタジオ 111㎡ 特別展示室 48㎡ 小展示室 34㎡ 歴史展示スペース 57㎡
そ の 他	プロムナード 中庭 ブリッジ
設 備	トイレ 多目的トイレ ロッカー



## 〔沿革〕

- 2011年 1月4日 学長年頭挨拶で美術館設置計画を発表  
6月8日 佐賀大学役員会にて美術館設置諮問委員会からの答申書を報告。  
美術館の設置を審議・了承。同時に3WG（設置募金、利用、建設）についても報告  
12月20日 美術館基本設計建設コンサルタント選定委員会で基本設計コンサルタント選定  
2012年 2月22日 佐賀大学役員会にて基本設計のイメージを説明、募金趣意書の作成を提案・了承  
5月14日 基本設計納入  
12月29日 美術館実施設計終了  
2013年 2月14日 新営工事起工式  
6月26日 美術館規則、美術館運営委員会規定制定  
8月30日 美術館建設工事竣工  
9月28日 佐賀大学統合10周年記念式典・佐賀大学美術館開館記念式典  
10月2日 一般公開開始  
2014年10月24日 入館者5万人達成  
2015年 1月22日 第18回佐賀市景観賞受賞  
2016年 2月19日 入館者10万人達成

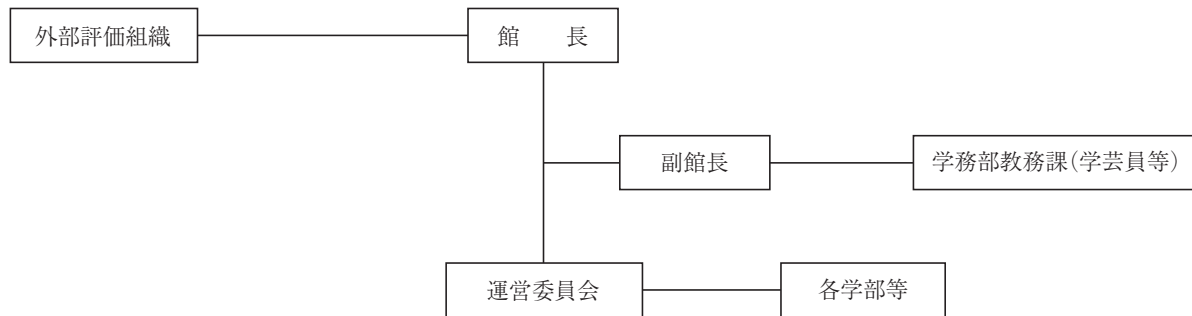
## 〔設立主旨〕

2013年10月、旧佐賀大学と佐賀医科大学の統合10周年記念事業として佐賀大学美術館は誕生しました。美術館と、併せて整備された正門エリアは、「地域に開かれた大学」という佐賀大学の理念を象徴するものです。美術館は、総合大学である佐賀大学の魅力を多方面に向けて、より多くの人に知っていただくための情報発信源として活用されています。

## 〔活動目的〕

佐賀大学が所有する資料や、美術・工芸に関連する作品を収集・保管・展示するとともに、文化芸術の新しい活動や表現を地域の方々とともに作り上げ、総合大学が生み出すさまざまな研究成果を周知・公開していきます。

# 〔組織図〕



## 〔職員〕

館長	渡 孝 則
副館長	荒 木 博 伸
係長	枝 國 武 司
事務員(再雇用)	廣 木 昭 則
事務補佐員(学芸員)	出 口 智佳子
事務補佐員(学芸員)	蒲 原 文 子

2020年3月31日現在

## 〔運営委員〕

委員長(館長)	理事	渡 孝 則
副委員長	理事	山 下 宗 利
副委員長(副館長)	教授	荒 木 博 伸
委員	准教授	和 田 学
委員	准教授	花 田 伸 一
委員	准教授	洪 廷 和
委員	教授	田 淵 康 子
委員	教授	後 藤 聡
委員	准教授	中 井 信 介
委員	学務部長	池 尻 英 一
委員	佐賀大学同窓会長	川 副 操
委員	教授	徳 安 和 博
委員	財務部長	猿 渡 毅

2020年3月31日現在

# 目次

## [年報]

- 3 ——— 館概要
- 4 ——— 沿革
- 5 ——— 組織図
- 7 ——— 2019年度の活動
  - 1. 展示記録（主催）
  - 2. 展示記録（企画申請）
  - 3. 博物館実習、職業体験
  - 4. 刊行・掲載・見学
  - 5. 寄附
  - 6. 職員の館外調査研究・研修等
  - 7. 新収蔵作品
  - 8. 入館者一覧表

## 〔2019年度の活動〕

- 2019年 4月2日 「常設展示 第1期」(～9.16)  
5月1日 特別展「佐賀の近代日本画」(～6.23)  
8月23日 夏季特別展「つちからいづる——佐賀大学のやきもの」(～9.23)  
10月1日 「常設展示 第2期」(～3.22)



# 1. 展示記録（主催）

## 常設展示 第1期

### 《展覧会概要》

2013年の開館以来、佐賀大学美術館は、佐賀大学の美術教員はじめ佐賀にゆかりのある作家達の芸術作品を収集し、現在は90点以上の作品を収蔵している。常設展では、当館のコレクションを恒常的に学生はじめ地域の方々に一般公開し、佐賀や佐賀大学における美術の様相を紹介する。

第1期では、平成30年度に新たに当館に収蔵された寄贈作品を公開。コンピューターグラフィックをいち早く研究の対象とした佐口七朗の作品や本学の芸術地域デザイン学部の源流にあたる特別教科教員養成課程（美術・工芸）設置に大きく貢献した石本秀雄の油彩画を中心とした展覧会を開催した。

《会期》2019年4月2日（火）～9月16日（月・祝）

《開館日数》144日間

《会場》特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《展示構成》西洋画5点、デザイン2点、資料2点 合計9点

《入館者数》2,275人

《広報物》外看板、HP、FB

《配布資料》目録

### 佐賀大学美術館常設展第1期

4.2(火) ▶ 9.16(月・祝)



出品リスト						
作品名	作者	媒材/技法	制作年	サイズ(cm)	寄贈者	
若き日の顔	藤田三郎	油彩・カンヴァス	大正29(1940)年	42.4×34.4	3階展室	
母のよき母	佐口七朗	色・デジタルグラフィック	昭和43(1968)年	40.0×40.0	2階展示室	
静寂	佐口七朗	色・デジタルグラフィック	昭和60(1985)年	50.0×55.0	2階展示室	
自由曲	石本秀雄	油彩・カンヴァス	昭和49(1974)年	46.4×37.8	2階展示室	
静寂の中の中央公園	石本秀雄	油彩・カンヴァス	不明	45.0×55.0	2階展示室	
静寂にて	石本秀雄	油彩・カンヴァス	昭和26(1951)年	162.8×130.6	3階展室	
静寂	佐藤彦雄	油彩・カンヴァス	昭和14(1939)年	73.2×91	3階展室	
資料名	資料	資料				
写真：新築設計（歴史ノート）	石本秀雄	3階展室				
資料（複製）	佐口七朗	3階展室				

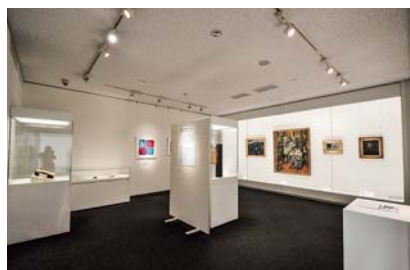


目録



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	寄贈者/所蔵
1	岡田 三郎助	若き娘の顔	1913	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
2	佐口 七朗	球体による構成 -589	1986	CG、銀塩ラムダ出力	佐口 正章 氏
3	佐口 七朗	構成 2	1985	シルクスクリーン、ケント紙	佐口 正章 氏
4	石本 秀雄	自画像	1929	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
5	石本 秀雄	新緑の中の中央公園	不明	油彩、カンヴァス	竹田 貞子 氏
6	石本 秀雄	画室にて	1951	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
7	筒井 茂雄	風景	1939	油彩、カンヴァス	芸術地域デザイン部より管理替
8	石本 秀雄	「特美」関連資料 (授業ノート)	1949頃	ノート	佐賀大学美術館
9	佐口 七朗	資料 (書籍)	-	-	佐賀大学美術館



## 特別展「佐賀の近代日本画」

### 《展覧会概要》

佐賀の近代の日本画を紹介する展覧会。明治の近代化によって成立することとなる「日本画」という絵画ジャンルで、佐賀県には池田幸太郎や川浪養治、立石春美、岩永京吉など優れた日本画家として活躍した人物がいた。その多くが東京美術学校で学び、「中央」の芸術の息吹を佐賀に送り込みながらも、郷土佐賀でしか作り得ない作品を生んできた。

本展では佐賀の日本画の源流としての江戸末期から明治の近代化、現在までの佐賀における日本画の様相を辿り、佐賀における美術史、表象文化史を紹介した。

《会期》2019年5月1日(水)～6月23日(日)

《開館日数》47日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《協力》佐賀大学芸術地域デザイン学部

《後援》佐賀県、佐賀市、佐賀市教育委員会

《展示構成》日本画20点、軸12点、屏風2点、卷子1点、冊子1点 合計36点

《入館者数》4,357人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《発行物》図録、記録集、チラシ、ポスター

《関連事業》シンポジウム

講師：金子 剛（美術家）

石川 宗晴（岩永京吉美術館 館長）

牛塚 和男（元佐賀大学文化教育学部 教授）

司会/野中 耕介（佐賀県立美術館 学芸員）

日時：5月19日（日）14:00～

会場：佐賀大学本庄キャンパス 教養教育2号館 2101



チラシ



## 講演会

講師:三瀬 夏之介(東北芸術工科大学芸術学部 准教授)  
近藤 恵介(佐賀大学芸術地域デザイン学部 講師)  
花田 伸一(佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授)

日時: 6月2日(日) 14:00～

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ



## レクチャー「浮世絵版画にみる西洋画法」

講師:花田 伸一(佐賀大学芸術地域デザイン学部 准教授)

日時: 5月11日(土) 14:00～

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ



## ワークショップ「他者の絵を模写する」

講師:近藤 恵介(佐賀大学芸術地域デザイン学部 講師)

日時: 5月5日(日) 14:00～

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ



## ワークショップ「彫刻と絵画をめぐるワークショップ」

講師:富井 大裕(武蔵野美術大学造形学部 准教授)

近藤 恵介(佐賀大学芸術地域デザイン学部 講師)

日時: 5月26日(日) 14:00～

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ



## アンサー・シンポジウム「佐賀大生と日本画専攻」

日時: 7月15日(月・祝) 14:00～17:00

会場:佐賀大学美術館 1階スタジオ

司会:中村 美和子

書紀:泉 茉優子、今村 奈月

パネリスト:浜口 和之(作家)、中島 由貴(作家)、

池田 佳子(佐賀県内高等学校美術教員)、深町 聡美(作家)、

佐賀大学大学院地域デザイン研究科および同大学芸術地域デザイン学部学生 9名

出品リスト

No.	作家名	作品・資料名	制作年・年代	素材	所蔵
1	草場 佩川	竹図画譜	江戸時代 (18-19世紀)	紙本墨画	小城市立歴史資料館(寄託)
2	柴田 花守	楠公像	19世紀	絹本着色	佐賀大学附属図書館(市場直次郎コレクション)
3	柴田 花守	『画学南北弁 上・下』	1882	刊本	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
4	古川 松根	大黒天図	-	紙本着色	佐賀大学附属図書館(市場直次郎コレクション)
5	古川 松根	書簡	日付 8月19日	紙本墨書	佐賀大学地域学歴史文化研究センター
6	中林 梧竹	初日の図 七十四翁悟竹	1900	絹本着色	小城市立中林梧竹記念館(寄託)
7	納富 介次郎	牡丹画	1856	紙本着色	小城市立歴史資料館
8	川崎 千虎	祈之図人物画	-	紙本着色	有田町歴史民俗資料館
9	長井 智覚	佐用姫	-	絹本着色	恵日寺(唐津)
10	長井 智覚	孔雀図	-	紙本着色	恵日寺(唐津)
11	池田 幸太郎	皎夜	1968	紙本着色	佐賀県立美術館
12	野口 謙次郎	春溪図	-	紙本着色	佐賀県立美術館
13	川浪 養治	キジ	-	紙本着色	佐賀県立美術館
14	田辺 路平	山桜図	-	絹本着色	洋々閣(唐津)
15	田辺 路平	領巾振山	-	絹本着色	洋々閣(唐津)
16	田辺 路平	虹の松原	-	絹本着色	洋々閣(唐津)
17	立石 春美	鯉	-	絹本着色	佐賀大学美術館
18	立石 春美	早乙女	1947	絹本着色	佐賀県立美術館
19	立石 春美	華の幻想	1974	紙本着色	佐賀県立美術館
20	石本 秀雄	五百羅漢図	-	紙本着色	小城市立歴史資料館
21	藤田 隆治	五ひき	1961頃	紙本着色	佐賀大学美術館
22	下川 千秋	小城公園	1974	紙本着色	佐賀県立美術館
23	下川 千秋	蒼苑(下絵)	1972	紙本着色	佐賀県立美術館
24	下川 千秋	蒼苑	1972	紙本着色	佐賀県立美術館
25	岩永 京吉	裸婦	1963	紙本着色	佐賀大学美術館
26	岩永 京吉	阿弥陀仏	1965	紙本着色	佐賀県立美術館
27	牛塚 和男	少年哀歌 I	1977	紙本着色	個人
28	牛塚 和男	太基	1985	紙本着色	個人
29	牛塚 和男	粹 I	1994	紙本着色	佐賀市立循誘小学校
30	石崎 誠和	都市色彩図	2015	紙本着色	個人
31	石崎 誠和	水照り	2008	紙本着色	個人
32	石崎 誠和	蓮間図	2008	紙本着色	個人

No.	作家名	作品・資料名	制作年・年代	素材	所蔵
33	近藤 恵介	“わ”と書いて、つぎに“た”、 つづけて“し”はシュッとス ナップをきかせる——すべ て鉛筆で——翌朝に“と” をペンでゆっくり紙にインク をしみこませるようにひき、 その日の晩に“そ”を蛍光 ペンでなげやりにかく、“の” と“状”は目をつぶる前に ベットで寝そべって指で宙 になぞった、その二年後に “況”を画きはじめたが一年 はかかるだろう	2019	岩絵具、水干、膠、染料、 墨、金箔、ペン、鳥の子紙、 薄美濃紙、その他紙、絹、 木材、木製パネル、板、 ガラス板、アクリル板、石、 糊、ねじ、釘、テープ	個人
34	近藤 恵介	卓上の絵画（、譚）—— 誰が袖	2019	岩絵具、水干、膠、墨、金 箔、ペン、鳥の子紙、その 他紙、真鍮板、プラスチック クダンボール、石、虫ピン、 糊、木材、蝶番	個人
35	近藤 恵介	卓上の絵画（冬）	2018	岩絵具、水干、膠、棒絵 具、墨、染料、金箔、ペン、 薄美濃紙、鳥の子紙、色 画用紙、印刷物、糊、フォ ルダー	個人
36	近藤 恵介	卓上の絵画（冬/『引込線 2017』書籍）	2018	岩絵具、膠、墨、ペン、印 刷物、木材、石、虫ピン、 クリップ	個人

## 夏季特別展「つちからいづる——佐賀大学のやきもの」

### 《展覧会概要》

本学の窯芸教室から現在の有田セラムック分野で教員を務めてきた作家や院生・卒業生の作品を通して窯芸教育の変遷を紹介する展覧会。窯芸教室初代教授の瀧一夫、瀧一夫から指導を受け、国内外の後進を育成する宮尾正隆元教授、外国のワークショップにも招聘されるなど国内外で活躍する田中右紀教授、湯之原淳講師、三木悦子講師、甲斐広文講師6名と院生・卒業生7名の作品55点を展示した。

《会期》2019年8月23日（金）～9月23日（月・祝）

《開館日数》28日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学美術館

《協力》佐賀大学芸術地域デザイン学部（有田セラムック分野）

《展示構成》計53点

《入館者数》1,382人

《広報物》チラシ、ポスター、外看板、HP、FB

《配布資料》チラシ、ポスター、目録



チラシ



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	所蔵
1	瀧 一夫	伊羅保壺	-	陶器	佐賀大学美術館
2	瀧 一夫	萌黄釉角瓶	1967	陶器	佐賀大学美術館
3	瀧 一夫	緑釉壺	-	陶器	佐賀大学美術館
4	宮尾 正隆	円	-	磁器	佐賀大学
5	宮尾 正隆	吉野ヶ里「波」	-	磁器	佐賀大学
6	宮尾 正隆	吉野ヶ里「風」	-	磁器	佐賀大学
7	田中 右紀	いのししの会議 The diet meeting of the wild boar	2019	磁土	個人
8	田中 右紀	アジアの雲 Cloud of Asia	2019	磁土	個人
9	田中 右紀	分子 Elements I	2006-2019	陶土	個人
10	田中 右紀	分子 Elements II	2006-2019	陶土	個人
11	田中 右紀	積乱雲 Towering thundercloud I . II	2006	磁土	個人
12	田中 右紀	Wald	2000	テラコッタ	個人
13	田中 右紀	分子雲 Molecular cloud	2013	磁土	個人
14	湯之原 淳	記憶するかたち ~Plasticity~	2015	磁土	個人
15	湯之原 淳	The fragment of memory	2014	磁土	個人
16	湯之原 淳	leaf	2006	磁土	個人
17	甲斐 広文	型打捻輪花皿	2019	磁器	個人
18	甲斐 広文	型打染付鷹羽輪花皿	2019	磁器	個人
19	甲斐 広文	型打鯛形皿	2019	磁器	個人
20	甲斐 広文	型打七角桔梗小鉢	2018	磁器	個人
21	甲斐 広文	型打桔梗取皿	2018	磁器	個人
22	甲斐 広文	型打桔梗小皿	2018	磁器	個人
23	甲斐 広文	糸切蝶形皿	2019	磁器	個人
24	甲斐 広文	糸切豆形皿	2019	磁器	個人
25	甲斐 広文	糸切笹形皿	2019	磁器	個人
26	甲斐 広文	糸切桃形皿	2008	磁器	個人
27	甲斐 広文	糸切鯛形皿	2019	磁器	個人
28	甲斐 広文	染付糸切鮎皿	2009	磁器	個人
29	甲斐 広文	糸切西洋歌留多皿	2015	磁器	個人
30	甲斐 広文	糸切失透雲形皿	2010	磁器	個人
31	甲斐 広文	青磁陽刻柘榴文輪花皿	2012	磁器	個人
32	甲斐 広文	型打捻八角輪花皿	2019	磁器	個人
33	甲斐 広文	六角捻り盃	2014	磁器	個人
34	甲斐 広文	染付水玉珈琲碗皿	2019	磁器	個人
35	甲斐 広文	しらべ	2016	磁器	個人
36	三木 悦子	EN	2004	磁器	個人
37	三木 悦子	fold	2005	磁器	個人
38	三木 悦子	connection	2006	磁器	個人
39	三木 悦子	house	2013	磁器	個人
40	三木 悦子	Ring	2013	磁器	個人
41	三木 悦子	box	2014	石膏	個人
42	三木 悦子	酒蔵めぐり用酒盃	2013	磁器	個人
43	三木 悦子	『梅』制作過程解説資料 原型/使用型/生地、素焼素地	2013	磁器、他	個人
44	三木 悦子	松竹梅	2013	磁器	個人
45	森山 寛二郎	切り継ぎ 一廻一	2017	陶器	個人
46	森山 寛二郎	切り継ぎ 一廻一	2018	陶器	個人
47	黒木 由美	be here	2019	磁器、釉薬	個人
48	黒木 由美	be here	2019	釉薬	個人
49	黒木 由美	be here	2019	釉薬	個人
50	古賀 崇洋	Helm series A	2019	磁土	個人
51	古賀 崇洋	Helm series UN	2019	磁土	個人
52	西川 智成	エスプレッソカップ	2019	陶器	個人
53	佐藤 明歩	心象標本	2019	磁土	個人
54	山口 恵美	catena IV	2019	磁土	個人
55	辻 拓真	環	2019	磁器	個人



## 常設展示 第2期

### 《展覧会概要》

第2期では、平成26年に佐賀商工会館より寄贈された作品と佐賀にゆかりのある作家8名の作品を紹介した。佐賀師範学校時代から後進を育成した石本秀雄と久富邦夫。岡田三郎助や黒田清輝に師事した辻永、佐賀龍谷大学教授で一水会や日展などで活躍した納富進。フランスに留学し、旅先や故郷唐津の風景などを多く描いた内山孝、銀行員時代から積極的に美術家協会展、独立展などに出品した井手誠一、明るい色彩と軽やかな筆致が特徴的な村岡平蔵。彼らの油彩画や日展や文展で活躍した安永良徳のブロンズ像を展示した。

《会期》2019年10月1日（火）～2020年3月22日（日）

《開館日数》127日間

《会場》特別展示室

《主催》佐賀大学美術館

《展示構成》西洋画 8点、彫刻 1点 計 9点

《入館者数》3,673人

《広報物》外看板、HP、FB

《配布資料》目録

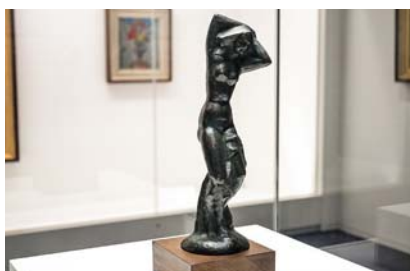
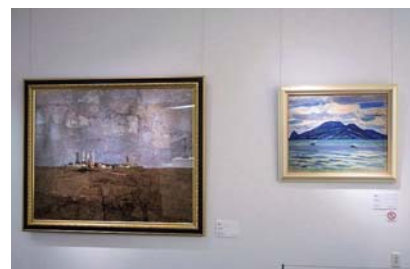
## 佐賀大学美術館常設展第2期



出展リスト					
作品名	作者	技法/材質	制作年	サイズ(cm)	所属
オーバーの像	石本秀雄	油彩・カンヴァス	昭和 1919(昭和4)	145.2×97.3	佐賀大学美術館
カンパの像	石本秀雄	油彩・カンヴァス	不詳	45.4×37.6	佐賀大学美術館
騎士	内山 孝	油彩・カンヴァス	昭和 1961(昭和36)	130.3×162.1	佐賀大学美術館
鎌倉日本橋渡	井手誠一	油彩・カンヴァス	昭和 1919(昭和4)	37.8×45.6	佐賀大学美術館
渡船	久富邦夫	油彩・カンヴァス	不詳	45.5×37.9	佐賀大学美術館
唐津朝顔	辻 永	油彩・カンヴァス	不詳	41.3×33.2	佐賀大学美術館
ストローと原田	村岡平蔵	油彩・カンヴァス	昭和 1919(昭和4)	116.5×91.3	佐賀大学美術館
雲山	納富進	油彩・カンヴァス	不詳	72.2×95.1	佐賀大学美術館
人物	安永良徳	ブロンズ	不詳	40.0×40.0×40.0	佐賀大学美術館

佐賀大学美術館  
SAGU MUSEUM

目録



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	素材	所蔵
1	石本 秀雄	オーバーの女	昭和35年(1960)	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
2	石本 秀雄	カンナの花	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
3	内山 孝	黒土	昭和36年(1961)	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
4	井手 誠一	銀杏並木秋景	昭和33年(1958)	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
5	久富 邦夫	麦秋	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
6	辻 永	須磨初秋	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
7	村岡 平蔵	ストーブと灰皿	昭和27年(1952)	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
8	納富 進	雲仙	-	油彩、カンヴァス	佐賀大学美術館
9	安永 良徳	人物	-	ブロンズ	佐賀大学美術館

## 2. 展示記録（企画申請）

### ドローリング展Ⅱ

#### 《展覧会概要》

「DRAWLING」はDRAW（描く）とLINE（線）を合わせた造語。佐賀県立美術館で開催の「ホキ美術館展」に連動して企画された。本展では小木曾誠氏の新作25点のほか、佐賀在住コレクターによるコレクション、本学出身の若手作家の写実画など全77点が展示され、

初日と最終日には出品者15名によるギャラリートークも開催された。

《会期》2019年4月3日（水）～4月14日（日）

《日数》11日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部



### 佐賀大学地域学歴史文化研究センター・小城市教育委員会共催展プレイバック企画

#### 「鍋島元茂一父を支え、小城を領すー」

#### 《展覧会概要》

小城藩が立藩して400年目の年にあたる2017年に開催された展覧会のプレイバック展。佐賀大学附属図書館所蔵「小城鍋島文庫」の元茂関係資料や島原の乱にかかる書状、鍋島直茂（佐賀藩の開祖、元茂祖父）の書状などのほか、企画展で使用したパネルで、小城

藩立藩までの推移や元茂の生涯を紹介した。

《会期》2019年7月5日（金）～7月15日（月・祝）

《開館日数》10日間

《会場》小展示室

《主催》佐賀大学地域学歴史文化研究センター



## 発掘された佐賀2019 ―佐賀県の発掘調査成果速報展―

### 《展覧会概要》

2018年度の発掘調査により発見された出土品が初めて一般公開され、過年度の発掘調査の整理・分析等の中で明らかになった新たな成果が展示された。また会期中には、調査成果の報告会「佐賀県の発掘調査成果報告2019」が実施され、調査成果の報告、熊本県震災派遣に伴う文化財保護の取り組み発表がなされた。



《会期》2019年7月10日(水)～7月15日(月・祝)

《日数》6日間

《会場》ギャラリー1

《主催》佐賀県文化課文化財保護室、佐賀大学(地域学歴史文化研究センター、全学教育機構)



## 第43回 全国高等学校総合文化祭 2019さが総文

### 《展覧会概要》

第43回全国高等学校総合文化祭が佐賀県内各所で開催された。演劇部門や美術部門などの様々な部門がある中で、佐賀大学は自然科学部門の会場となった。当館はこの中でポスター発表の開会式の会場および、パネル発表の会場として使用された。初日には、



秋篠宮皇嗣同妃両殿下がお成りになり発表をご覧になられた。

《会期》2019年7月27日(土)～7月28日(日)

《開館日数》2日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》第43回全国高等学校総合文化祭



## 芸術表現基礎・地域デザイン基礎成果発表展

### 《展覧会概要》

本学の芸術地域デザイン学部の1年生が授業で取り組んだ制作や活動の成果を発表する展覧会。「絵画」「ミクストメディア」「工芸」「デザイン」「マネジメント」「フィールドワーク」の6つのテーマで制作された約400点の個性豊かな作品が並んだ。会期中にはコンテポラリーダンスパフォーマンスや自作絵本の朗読会といったイベント



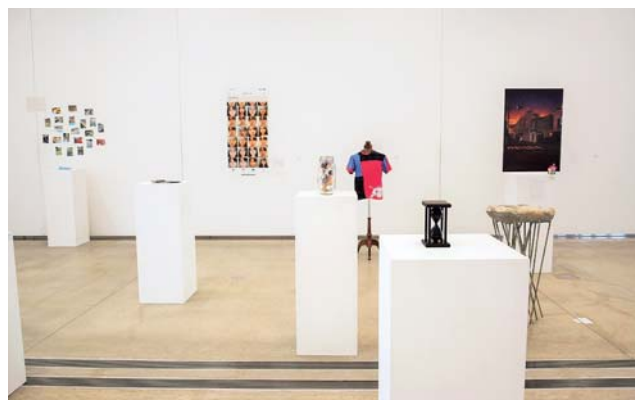
も開催された。

《会期》2019年7月31日(水)～8月8日(木)

《開館日数》8日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、歴史展示スペース

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部



## 第4回 S-YOU-GA 展

### 《展覧会概要》

佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画専攻と熊本県の崇城大学芸術学部洋画コースによる合同企画展。両大学の教員、卒業生、在校生、合計66名の作品が一堂に会する展覧会となった。会期中には本学の小木曾誠准教授による写実絵画ワークショップ「水彩で描く佐賀」も開催され、佐賀県内の多くの中学生や高校生が参加した。

《会期》2019年9月28日(土)～10月14日(月・祝)

《日数》15日間

《会場》小展示室、ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部西洋画専攻、崇城大学芸術学部洋画コース



## みんなの大学写真展

### 《展覧会概要》

本学の経済学部公開講座「みんなの大学」の受講生100人による写真の展覧会。佐賀県の風景や家族の写真など119点を展示した。会期中には第22回佐賀大学祭が催され、幅広い年代の来館者が訪れ、見学した。



《会期》2019年10月17日（木）～10月20日（日）

《日数》4日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2

《主催》佐賀大学経済学部



## 令和元年度 JA 共済小・中学生 第55回書道・第45回交通安全ポスターコンクール

### 《展覧会概要》

JA共済が文化支援事業として毎年実施している全国規模のコンクールの入賞作品展。応募された小・中学生の書作および交通安全ポスターの中から、県内入賞・入選を果たした作品が展示され、会期中は家族連れなどで賑わった。

《会期》2019年10月24日（木）～11月4日（月・祝振）

《日数》11日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2

《主催》佐賀県内JA、JA共済連佐賀

《後援》佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県警察本部、佐賀県農業協同組合中央会、NHK佐賀放送局、サガテレビ、NBCラジオ佐賀、エフエム佐賀、佐賀新聞社、日本農業新聞



## 第10回 璞友会展

### 《展覧会概要》

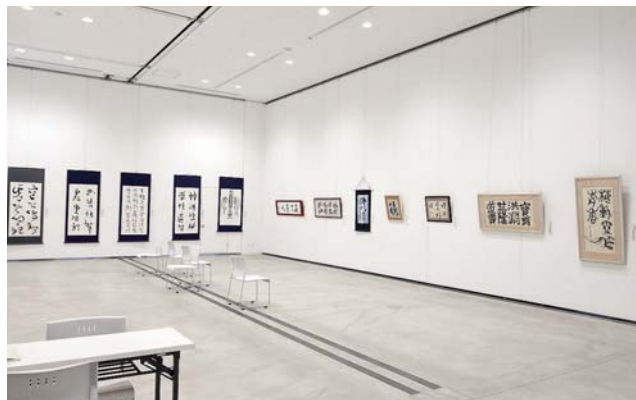
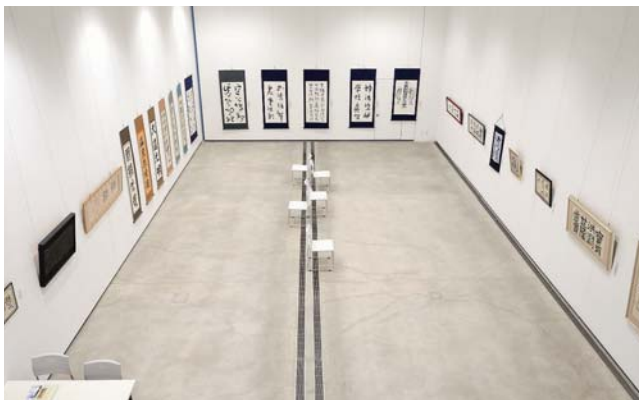
今年で10回目を迎えた「璞友会」の書道の作品展。佐賀県内で共に書を学んでいる書家とその生徒、15名が日頃の研鑽の成果を発表した。2019年度は、様々な書体で力強く表現された22点の書道作品を展示した。

《会期》2019年11月12日（火）～11月17日（日）

《日数》6日間

《会場》ギャラリー1

《主催》璞友会



## 第60回 佐賀県学童美術展

### 《展覧会概要》

佐賀県内の園児および小・中学生が授業で制作した絵画、デザイン、線描を645点展示した。小・中学生の学校、各地区、そして本部の審査で特選を受賞した作品を見学するため、多くの家族連れなどで賑わった。会期中に審査員によるギャラリートークも催され、来館者は講師の話に熱心に耳を傾けていた。

《会期》2019年12月4日（水）～12月8日（日）

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀県造形教育研究会

《後援》佐賀県教育委員会



**第35回 佐賀県高等学校美術教師作品展  
第9回 生徒授業作品展「これが高校美術だ!」**

《展覧会概要》

佐賀県内の高校で美術を教える教師26名による展覧会。第35回を迎えた今回は、絵画、彫刻、デザイン部門から34点が展示された。さらに高校で美術を学ぶ意義を一般に伝えるため、県内高校の授業作品を出展した作品展「これが高校美術だ!」を併催。ポスターやプロダクトデザインなど、今日の高校美術における多彩な取り組みが紹介された。



介された。

《会期》2019年12月18日（水）～12月22日（日）

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀県高等学校教育研究会芸術部会美術部会



**発生の場/Ignition Field**

《展覧会概要》

本学の芸術地域デザイン学部が2016年より開始した教育プログラムのひとつ SMAART の成果展覧会。現代の芸術表現と芸術の新しい楽しみ方が紹介された。当館では招聘された4名のゲストアーティストが作品を発表し、会期中にはアーティストトークやアートカフェといった関連イベントも開催された。

《会期》2020年1月11日（土）～1月26日（日）



《開館日数》12日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部

《協力》佐賀県、公益財団法人佐賀市文化振興財団、文化経済学会(日本)九州部会

《後援》佐賀新聞社、西日本新聞社

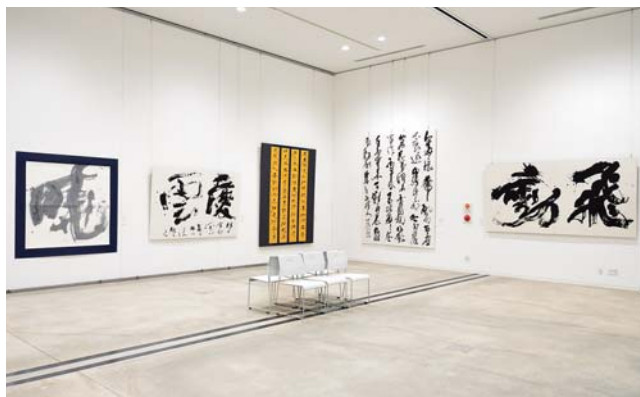




## 第44回 佐賀県高等学校書道教師書作展 第44回 佐賀県高校臨書展（生徒優秀作品展示）

### 《展覧会概要》

佐賀県内の高校の書道教師が集まる研究会で、年に一度の書作発表の場として開催している展覧会。日頃の成果として32名が47点の書、掛軸、篆刻などを展示した。さらに高校書道部および授業の学習成果として、高校生徒臨書展の優秀作品、合わせて264点を紹介した。



《会期》2020年1月29日（水）～2月2日（日）

《日数》5日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ

《主催》佐賀県高等学校教育研究会書道部門

《共催》佐賀県高等学校文化連盟書道専門部

《後援》佐賀県書道教育連盟



## テキスタイル・クラフト・コンサベーション展

### 《展覧会概要》

本学の芸術地域デザイン学部地域デザインコースキュレーション分野の学生と留学生5名による染織作品を扱った研究成果展。袷縵や絹のドレスなど様々な繊維を取り扱い、それぞれの歴史的文脈を紐解いた。作品およびパネルあわせて26点を展示した。

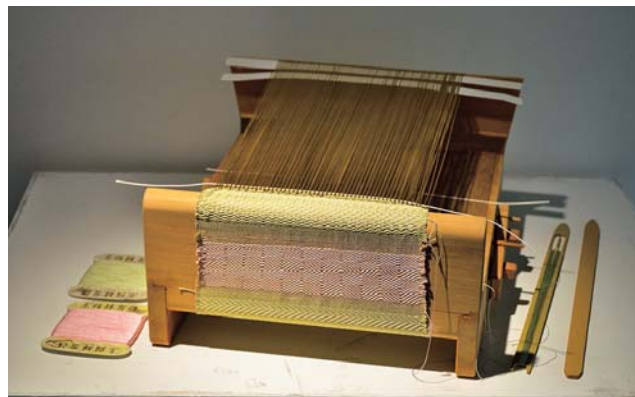


《会期》2020年1月30日（木）～2月4日（火）

《日数》5日間

《会場》小展示室、歴史展示スペース

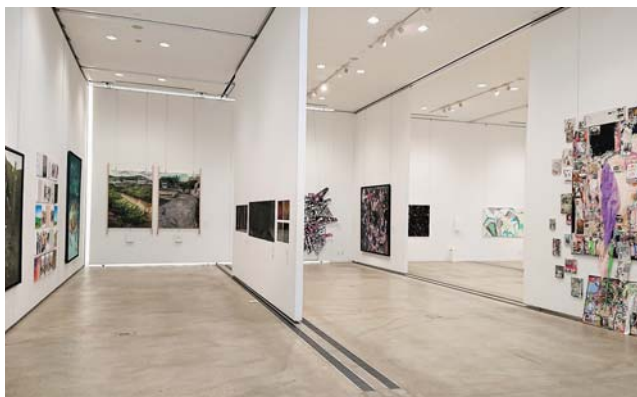
《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部 地域デザインコース キュレーション分野



## 佐賀大学芸術地域デザイン学部・大学院地域デザイン研究科デザインコース 卒業・修了制作展

### 《展覧会概要》

本学の芸術地域デザイン学部および文化教育学部美術・工芸課程、大学院地域デザイン研究科の学部生・大学院生による卒業・修了制作展。西洋画、日本画、視覚伝達デザイン、彫塑、有田セラミック、漆・木工、ミクストメディア、美術史・美術理論、地域コンテンツデザイン、フィールドデザイン、キュレーション分野を学ぶ学生たちが、学生生活の集大成となる作品を展示した。なお本展は2016年に開設された芸術地域デザイン学部にとって初の卒業生による展示と



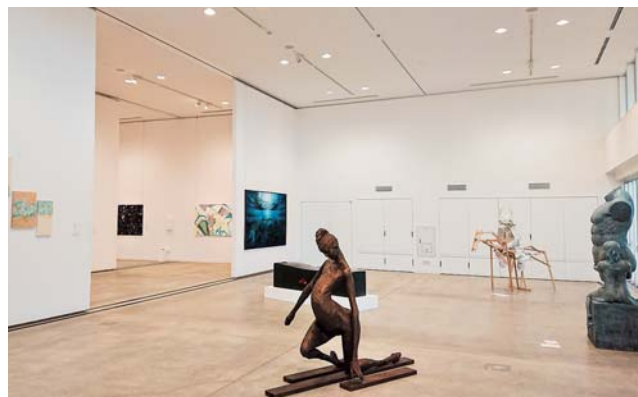
なった。

《会期》2020年2月15日(土)～2月25日(火)

《日数》9日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室、歴史展示スペース

《主催》佐賀大学芸術地域デザイン学部、佐賀大学大学院地域デザイン研究科



## 佐賀大学学生書作展

### 《展覧会概要》

本学の教育学部学生による書作展。佐賀県書作家協会展、佐賀県書道展、県展などに積極的に取り組んできた学生の書作と指導教員1名の賛助作品、合わせて15点を展示した。



《会期》2020年2月27日(木)～3月1日(日)

《日数》4日間

《会場》小展示室

《主催》佐賀大学教育学部



## 佐賀大学教育学部附属特別支援学校 第4回 児童生徒作品展

### 《展覧会概要》

佐賀大学教育学部附属特別支援学校が、児童生徒の授業作品や学習の様子を紹介し、広く活動を周知してもらうとともに、展示・鑑賞を通じて児童生徒の情操の学習に取り組むため毎年催している展覧会。

特別支援学校で学ぶ知的障がいを持つ児童生徒による図工・美

術作品、作業製品、学習活動で制作した作品や教材を展示した。

《会期》2020年3月3日(火)～3月8日(日)

《日数》6日間

《会場》ギャラリー1、ギャラリー2

《主催》佐賀大学教育学部附属特別支援学校



## 〔プロムナード使用〕

### 佐賀大学アカペラサークル「Score!」によるミニライブ

#### 《概要》

本学の学生音楽サークル「Score!」が水曜日の昼休みに当館正面入り口前のプロムナードでミニライブを行った。新入生向けのもので、複数のグループが日本のポップミュージックなどをアカペラで披露した。

《会期》2019年4月9日（水）、16日（水） 12:00～12:30

《開館日数》2日間

《会場》プロムナード

《主催》佐賀大学アカペラサークル「Score!」



### 佐賀大学管弦楽団「季節のジェラート」によるミニコンサート

#### 《概要》

本学管弦楽団の有志で構成された「季節のジェラート」が、昼休みにおよそ月に1回、当館正門入口前のプロムナードで演奏を行った。衣装を替え、スターウォーズ、ハリーポッターのテーマなど馴染みのある楽曲を演奏し、日頃の練習成果を披露した。

《会期》2019年4月12日（金）、17日（水）、24日（水）、5月15日

（水）、6月12日（水）、7月22日（月）、10月31日（木）、

11月28日（木）、12月24日（火）

12:30～12:45

《日数》9日間 《会場》プロムナード

《主催》佐賀大学管弦楽団「季節のジェラート」



### 3. 博物館実習、職業体験

#### 概要

2016年より当館での博物館実習の学内生の受け入れが始まった。2019年度は学芸員資格取得希望者に対し、収蔵庫見学および展示照明実習を館内で行った。

また、本学芸術地域デザイン学部主催のプログラム「アートへの扉」にて、県内の高校生を中心にバックヤードツアーを案内した。

《実習名》博物館実習 展示・照明

《内容》博物館実習の一環で、芸術地域デザイン学部石井美恵先生の指導の下、作品の展示および照明の実習を行った。

《日程》2019年5月11日（土）10：00～14：00

《参加者》17名



《日程》2019年5月25日（土）10：00～14：00

《参加者》16名



《実習名》博物館実習 収蔵庫見学

《内容》博物館実習の一環で収蔵庫見学を行った。参加者は芸術地域デザイン学部の1年生19名で、4グループに分かれて準備室、搬入口、収蔵庫などを見学した。佐賀大学美術館の成り立ちや特色、学芸員の業務、収蔵品について説明した。

《日程》2019年11月8日（金）10:45～11:30

《参加者》19名



《プログラム名》「アートへのとびら」バックヤード見学

《内容》本学芸術地域デザイン学部が主催する事業「アートへのとびら」でバックヤード見学を行った。「アートへのとびら」は県内の高校生を対象にし、アートの持つ多様性やアートと社会の関係を学ぶことを目的としたプログラムで、第一回の本プログラムを当館で行った。常設展とバックヤードの見学を行い、展示室と収蔵庫の設備について学んだ。

《日程》2019年11月10日（日）10:45～11:30

《参加者》10名



## 概要

《実習名》中学生職業体験

《内容》佐賀大学教育学部附属中学校2年生の職業体験を受け入れた。参加者は当館の収蔵庫を含む館内や、企画申請事業の展覧会の搬入の様子、学内の他の研究・展示施設である地域学歴史文化研究センターを見学した。当館の成り立ちや美術館業務について説明したり、開館・閉館作業や受付業務に携わったりした。

《日程》2019年11月10日（日）10：45～16：00

《参加者》2名



## 4. 刊行・掲載・見学

### 〔刊行物〕

図録『佐賀の近代日本画』

〔概要〕図録

〔仕様〕縦200mm×横182.0mm46頁 4色刷

〔発行部数〕1,000部

〔発行日〕2019年5月1日

記録集『佐賀の近代日本画』

〔概要〕展覧会記録集

〔仕様〕縦200mm×横182.0mm94頁 4色刷

〔発行部数〕500部

〔発行日〕2020年3月31日



『佐賀大学美術館平成30年度年報/紀要』

〔概要〕年報：館概要/沿革/組織図/2018年度の活動

紀要：「コレクションの意義と活用—佐賀大学美術館を事例として」

出口智佳子（佐賀大学美術館 学芸員）

〔仕様〕AB版62頁 4色刷

〔発行部数〕500部

〔発行日〕2019年11月30日





〔掲載紙・テレビ・ラジオ〕 2019年度は総数で新聞等31件、TV・ラジオ10件が掲載・放送された。  
※本頁は館主催事業についての報道のみ抜粋

- ・「佐賀の近代日本画」展 あすから、佐賀大学美術館「佐賀の近代日本画」（4月30日 佐賀新聞）
- ・ひるまえ情報便「佐賀の近代日本画」（5月22日 NHK）
- ・郷土の日本画家をたどる「佐賀の近代日本画」（5月14日 佐賀新聞）
- ・NHK ニュース佐賀にゆかり日本画紹介の作品展「佐賀の近代日本画」（5月28日 NHK）
- ・近代日本画の変遷紹介「佐賀の近代日本画」（5月31日 読売新聞）
- ・芸術ウェーブ 伝統と多様化の系譜「特別展「佐賀の近代日本画」」（長崎新聞）
- ・展覧会「つちからいづる」（8月19日 佐賀新聞）
- ・きょうの催し「つちからいづる」（8月23日 佐賀新聞）
- ・まちかどカレンダー「つちからいづる」（9月2日 佐賀新聞）
- ・佐賀大学美術館で「つちからいづる」展 窯業教育の潮流たどる「つちからいづる」（9月3日 佐賀新聞）
- ・佐賀大美術館で13人の陶磁器展「つちからいづる」（9月13日 読売新聞）
- ・芸術新時代(9) 陶芸 古賀崇洋さん「つちからいづる」（9月20日 佐賀新聞）
- ・ひるまえ情報便「常設展 第2期」（10月1日 NHK）
- ・郷土ゆかりの画家、一堂に 佐賀大美術館で常設展「常設展 第二期」（1月21日 佐賀新聞）
- ・展覧会「令和2年度常設展 第1期」（3月20日 佐賀新聞）

〔見学団体一覧〕 ※事前連絡および申告にて把握できた団体名称および人数。  
 ※参加者数に引率者を含む。

期日	団体名	人数
4月9日	佐賀大学「西洋画 I b」受講者	20
4月10日	佐賀大学「芸術と社会 I」受講者	43
4月16日	佐賀女子短期大学付属 ふたばこども園	35
4月23日	社会福祉法人花木庭会 鹿島療育園	11
4月25日	佐賀大学新採用職員研修	27
5月2日	唐松地区美術部	30
6月12日	福岡県立糸島高等学校	83
6月13日	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	17
6月14日	上海市香山中学校 美術専攻	24
7月31日	筑紫女学園高等学校	58
8月1日	福岡県立香椎高等学校	42
9月3日	福岡県立早良高等学校 PTA	11
9月11日	熊本県立芦北高等学校、芦北町役場	13
9月12日	佐賀県立武雄青陵中学校	127
9月20日	佐賀県立伊万里高等学校 PTA	32
10月3日	熊本県立第一高等学校好文会 PTA	41
10月3日	佐賀大学芸術地域デザイン学部1年生	17
10月3日	大分県立中津北高等学校	41
10月9日	佐賀県立唐津西高等学校	27
10月10日	佐賀県立致遠館高等学校	32

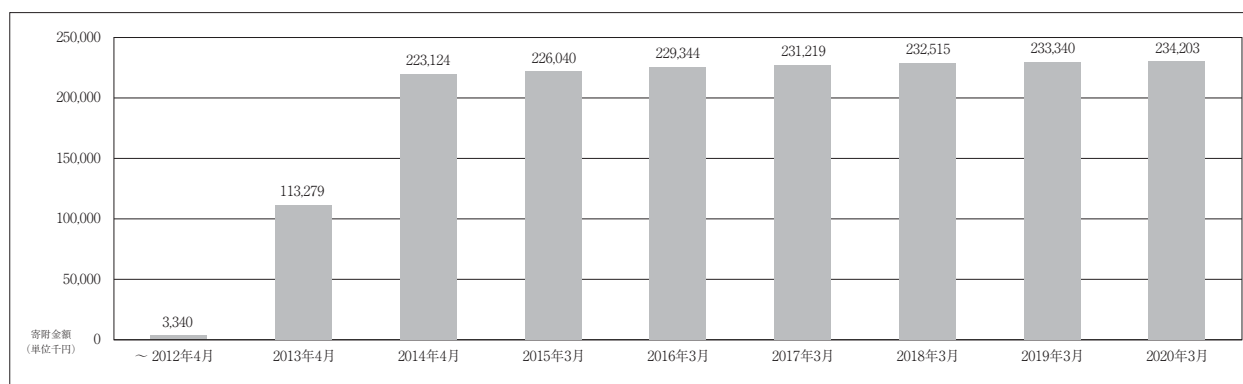
期日	団体名	人数
10月17日	福岡県立武蔵台高等学校	38
10月24日	福岡県立玄洋高等学校	50
11月10日	アートのとびら	10
11月16日	第8回佐賀大学ホームカミングデー	30
11月19日	熊本県立御船高等学校	28
11月20日	佐賀県立唐津東中学校	126
11月22日	福岡県立宗像高等学校 PTA	34
11月28日	福岡県立三池工業高等学校 PTA	41
12月5日	佐賀大学教育学部附属小学校2年生	72
12月6日	私立龍谷中学校	48
12月12日	私立龍谷高等学校	72
12月19日	佐賀大学附属特別支援学校中等部	8
1月11日	佐賀市立大和中学校	18
1月26日	佐賀大学「博物館展示論」受講者	23
1月29日	佐賀県立佐賀商業高校	82
1月30日	佐賀県立佐賀商業高校	41
1月31日	佐賀県立佐賀商業高校	41
2月20日	佐賀女子高等学校	39
2月20日	白石町立六角小学校	25
2月27日	佐賀大学附属特別支援学校中等部	9

2019年4月9日～2020年2月27日

## 5. 寄附

### [美術館設置募金の経緯]

- 2011年 6月 美術館設置募金 WG 設置
- 2012年 4月 美術館設置事業募金開始
- 2013年 6月 寄附者芳名帳を公開  
美術館規則の制定に伴い、美術館設置募金 WG を解散
- 9月 美術館に高額寄附者銘板を設置
- 10月 美術館開館後も美術館設置事業募金を継続
- 2020年 3月 募金総額234, 203, 260円 (2020年 3月31日現在)



## 6. 職員の館外調査研究・研修等

出口智佳子

日時: 2020年 6月 3日 (月) ～ 7日 (金)

場所: 国立西洋美術館

目的: 令和元年度国立美術館キュレーター研修「美術館コレクションの活用と近代美術作品調査」

香月比呂、蒲原文子

日時: 2019年10月11日 (金)

場所: 佐賀県立博物館・美術館

目的: 2019年度文化庁「大学における文化芸術推進事業」学芸員技術研修会「梱包技術」

蒲原文子

日時: 2020年 1月17日 (金)

場所: 佐賀県立博物館・美術館

目的: 佐賀県博物館協会研修会「広報リーフの作成手法」



## 7. 新収蔵作品

平成31年、令和元年度に佐賀大学の所蔵となった物品の内、佐賀大学美術館が保管もしくは管理する作品。

収蔵年	作家名	作家名_E	作品名	作品名_E
2019	深川 善次	FUKAGAWA, Zenji	村岡宅美先生像	Portrait of Muraoka Takumi
2019	山口 亮一	YAMAGUCHI, Ryoichi	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	山口 亮一	YAMAGUCHI, Ryoichi	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	松尾 豊治	MATSUO, Toyoji	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	石倉 博	ISHIKURA, Hiroshi	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	石崎 寛	ISHIZAKI, Hiroshi	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	竹下 義行	TAKESHITA, Yoshiyuki	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier
2019	田村 進	TAMURA, Susumu	慰問絵巻	Scrolled picture for soldier

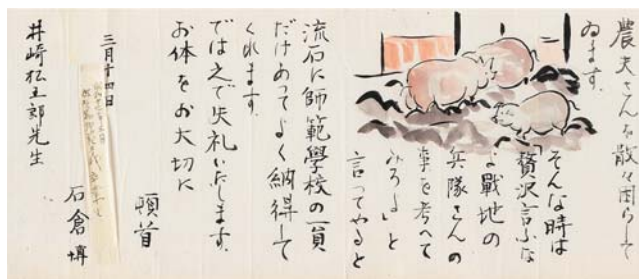


深川善次《村山宅美先生像》



山口亮一「慰問絵巻」(部分)

分類	制作年(和暦)	制作年(西暦)	寸法(H×W×D)	素材	出品歴	寄贈者
西洋画	昭和42	1967	88.0×65.0	油彩・カンヴァス	-	村山 卓雄
史料	昭和13	1938	17.5×246.5	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和14	1939	17.0×536.0	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和17	1942	18.5×432.0	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和17	1942	19.0×239.6	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和17	1942	19.0×312.0	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和17	1942	19.2×883.0	水彩・紙	-	井崎 満州男
史料	昭和17	1942	19.5×441.0	水彩・紙	-	井崎 満州男



石倉博「慰問絵巻」(部分)



竹下義行「慰問絵巻」(部分)

## 8. 入館者一覧表

※数値に重複あり

展覧会	入場者数	会期	日数	主催	展示会場
常設展示 第1期	2,275	4月13日-9月16日 (中断期間あり)	79	佐賀大学美術館	特別展示室 ※観覧者実数
第2回「DRAWLING展(ドローリング展)」	1,760	4月3日-4月14日	11	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
佐賀の近代日本画	4,357	5月1日-6月23日	47	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、特別展示室
佐賀大学・小城市交流事業特別展プレイバック企画展 鍋島元茂一父を支え、小城を領すー	949	7月5日-7月15日	9	佐賀大学地域学歴史文化研究センター	小展示室
発掘された佐賀2019ー佐賀県発掘調査成果展ー	843	7月10日-7月15日	7	佐賀県教育委員会	ギャラリー1
第43回全国高等学校総合文化祭	4,494	7月27日-7月28日	2	第43回全国高等学校総合文化祭佐賀県実行委員会事務局	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
芸術表現基礎 地域デザイン基礎 成果発表展	2,805	7月31日-8月8日	7	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
「つちからいづるー佐賀大学のやきもの」	1,382	8月23日-9月23日	27	佐賀大学美術館	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第4回S-YOU-GA展	2,117	9月28日-10月14日	15	佐賀大学西洋画専攻、崇城大学芸術学部洋画コース	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室
常設展示 第2期	3,673	10月1日-3月8日 (コロナ対策のため中止3/10~)	127	佐賀大学美術館	特別展示室
佐賀大学公開講座「みんなの大学写真展」	581	10月17日-10月20日	4	佐賀大学経済学部	ギャラリー1、ギャラリー2
令和元年度JA共済小・中学生 第55回書道・第45回交通安全ポスターコンクール	1,436	10月24日-11月4日	11	農業協同組合/ 全国共済農業協同組合連合会 佐賀県本部	ギャラリー1、ギャラリー2
璞友会展	364	11月12日-11月17日	6	璞友会	ギャラリー1
第60回 佐賀県学童美術展	2,864	12月4日-12月8日	5	佐賀県造形教育研究会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第35回 佐賀県高等学校美術教師作品展	638	12月18日-12月22日	5	佐賀県高等学校教育研究会芸術部会美術部会	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
発生の場/Ignition Field	1,328	1月11日-1月26日	12	佐賀大学芸術地域デザイン学部	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
第44回 佐賀県高等学校書道教師書作展	1,105	1月29日-2月2日	5	佐賀県高等学校教育研究会書道部門	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ
テキスタイル・コンサベーション展	987	1月30日-2月4日	5	佐賀大学芸術地域デザイン学部地域デザインコース キュレーション分野	小展示室
第63回佐賀大学文化教育学部美術・工芸課程卒業制作展・第25回佐賀大学大学院教育学研究科修了制作展	2,346	2月15日-2月25日	10	佐賀大学文化教育学部/ 佐賀大学大学院地域デザイン研究科	ギャラリー1、ギャラリー2、スタジオ、小展示室
佐賀大学学生書作展	214	2月27日-3月1日	4	佐賀大学文化教育学部学校課程教科教育選修国語(書写)教育分野	小展示室
佐賀大学教育学部附属特別支援学校 第5回 児童生徒作品展	329	3月3日-3月8日	6	佐賀大学教育学部附属特別支援学校	ギャラリー1、ギャラリー2
(中止) 佐賀大学大学院 都市工学専攻 理工学部都市専攻科 修士制作・卒業制作展	-	(中止) 3月13日-3月20日	7	佐賀大学大学院工学系研究科 都市工学専攻/ 佐賀大学理工学部都市工学科	スタジオ

平成31年4月1日~令和2年3月8日

### [年度別入場者実績]

※数値に重複なし

	総入館者数	うち有料入館者数	開館日数
平成25年度	27,167	0	125
平成26年度	40,780	2,652	254
平成27年度	37,965	0	281
平成28年度	38,474	0	291
平成29年度	34,718	0	285
平成30年度	31,883	0	273
令和元年度	30,698	0	268



佐賀大学美術館  
**平成31年度 令和元年度**  
年報



2021年2月28日発行

発行 佐賀大学美術館 ©2020

佐賀市本庄町1番地

編集 出口智佳子+蒲原文子 (佐賀大学美術館)

編集補助 松尾和俊+廣木昭則

印刷 株式会社 昭和堂

※本書の仕様は、「平成25年度年報+紀要」(デザイン:佐賀大学文化教育学部 荒木博申教授)を踏襲した。





佐賀大学美術館



THE SAGA UNIVERSITY ART MUSEUM